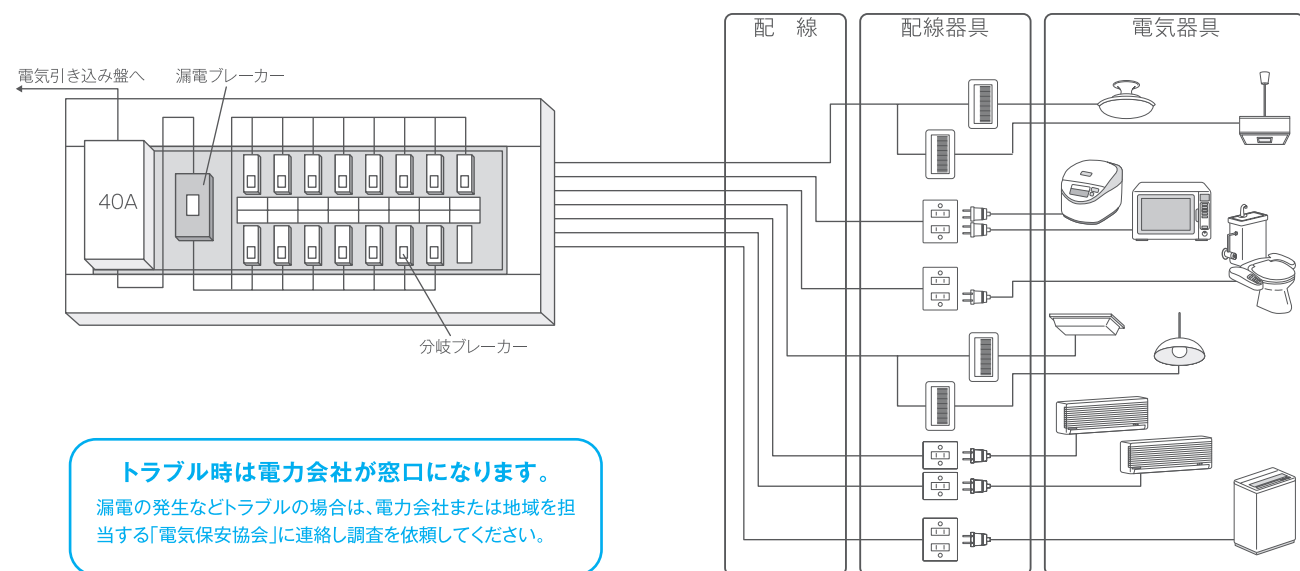


電気と配線について

家中の電気が止まった!そんな時はブレーカーの点検が必要です。

また、コンセントの注意点についてご紹介いたします。



電気全般

各ブレーカーの受け持ち配線をご確認ください。

電力量計は屋外に取り付けてありますので、位置をよくご確認ください。

規定容量以上の電気器具を使用すると、ブレーカーが働き電気を遮断してしまいます。規定容量以下にしてから「入」にしてください。

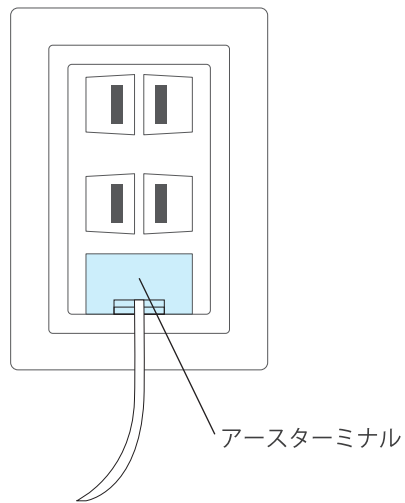
家中の電気が消えた

ブレーカーが落ちた場合

- ① 電気の使いすぎが原因です。消費電力の大きなものを消し、ブレーカーを上げます。
- ② 電気がショートしている場合、その場所を探し、直してからブレーカーを上げます。

※感電・漏電の恐れがあるので、冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、温水洗浄便座、電気温水器などは、必ずアースを取り付けてください。アースターミナルのない場合は、専門会社に依頼してください。

※アースをガス配線やコック、水道管には絶対につなげないでください。爆発の危険があります。



※電源コードのプラグにたまるホコリは、火災の原因になりますので定期的に掃除してください。

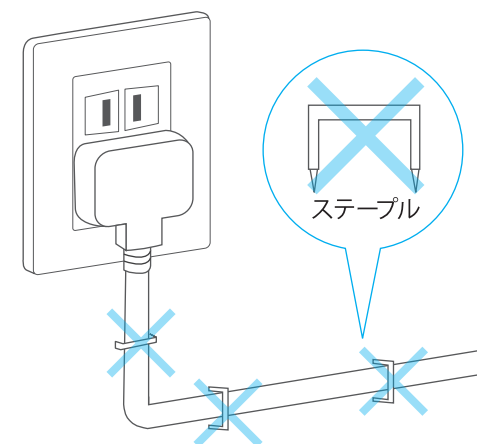
※古くなったプラグやコードをビニールテープなどでつないで使うことも、火災の原因になります。

※スイッチ、コンセントを扱う時は、感電につながりますので濡れた手で触らないでください。

※電気製品や電気設備のお手入れは、感電を防ぐため必ず電源を切ってください。

※小さいお子さまの感電を防ぐため、市販のコンセントカバーを付けると安心です。

※電気コードは、釘で柱や壁に固定しないでください。釘がコードを圧迫し破損すると感電する恐れがあります。



※門灯など外部に配線する場合、漏電の原因になりますので地中での電線への接続はしないでください。必ず敷地内に接続ボックスを設けてください。

※門灯など外部の電気機器は、室内から地中を通して配線していますので、造園工事の際は配線をキズ付けないようご注意ください。